



■ ■ 要求に当たっての基本的な考え方 ■ ■

平成22年度においても、『「元気発進！北九州」プラン』や「健康福祉北九州総合計画」に基づき、一つひとつの施策を丁寧に、そして着実に推進することにより、保健福祉行政の基本理念である「いのちをつなぐ」健康福祉のまちづくりを推進するものです。

なお、施策の展開にあたっては以下の点に重点を置いて取り組みます。

- 1 地域福祉の基本は「自助」、「共助」、「公助」の組み合わせです。これらをバランスよく展開することにより、地域福祉を維持します。
- 2 特に、健康づくりや介護予防、高齢者の生きがいづくりなど、「自助」、「共助」の取り組みを促進することにより、福祉医療費の伸びの抑制や地域活動の担い手づくりにもつなげます。
- 3 福祉に対するニーズは増大かつ複雑・多様化しており、行政の既存の制度や施策ではますます対応が困難になってきています。今後は、さらに地域団体、NPO、企業などとの協働や連携を強化します。
- 4 景気の低迷や雇用の後退が続く中で、セーフティネットとして適切な生活保護を実施しますが、出来るだけ早く生活を再建できるよう、自立を支援する取り組みを強化します。
- 5 市民目線に立ったきめ細かな対応ができるよう、市民との直接の窓口となる区役所や地域包括支援センターなどの機能の充実に努めます。
- 6 国で検討されている社会保障の各制度の見直しにできるだけ迅速かつ適切に対応するとともに、様々な機会をとらえて積極的な提案を行っていきます。

■ ■ 重点的に取り組みを行う主なもの ■ ■

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1 健康で活動的なまち【自助】の推進 | |
| ◎未来へつなぐ食育推進事業 | 10 百万円 [健康推進課] |
| ◎地域保健と職域保健が連携した健康づくり事業 | 2 百万円 [健康推進課] |
| 国民健康保険特定健診・特定保健指導の実施と受診促進 | 995 百万円 [健康推進課] |
| 健康診査の推進・受診促進 | 415 百万円 [健康推進課] |
| 健康マイレージ事業（介護特会・地域支援事業） | 39 百万円 [健康推進課] |
| ○年長者施設利用証広域連携事業 | 2 百万円 [高齢者支援課] |
| 2 地域で支え合うまち【共助】の推進 | |
| 認知症サポーターキャラバン事業 | 5 百万円 [高齢者支援課] |
| 権利擁護・市民後見促進事業 | 15 百万円 [高齢者支援課] |
| ◎福祉避難所運営委託 | 1 百万円 [いのちをつなぐネットワーク推進課] |
| ◎高齢者緊急時あんしん事業（介護特会・地域支援事業） | 5 百万円 [いのちをつなぐネットワーク推進課] |
| いのちをつなぐネットワーク事業 | 19 百万円 [いのちをつなぐネットワーク推進課] |
| 3 安心な暮らしのあるまち【公助】の推進 | |
| ◎障害福祉施設の耐震化及び消防設備整備事業 | 1,194 百万円 [障害福祉課] |
| ◎発達障害支援センター分所設置事業 | 17 百万円 [障害福祉課] |
| ○自殺対策の推進事業 | 14 百万円 [精神保健福祉センター] |
| 地域包括支援センター運営事業（介護特会・地域支援事業） | 569 百万円 [いのちをつなぐネットワーク推進課] |
| 特別養護老人ホーム等建設補助事業 | 1,384 百万円 [介護保険課] |
| 生活保護自立支援事業 | 25 百万円 [保護課] |
| 小池学園成人部改築移転事業 | 1,100 百万円 [障害福祉課] |
| ○介護サービス従事者の定着促進（介護特会・地域支援事業） | 3 百万円 [介護保険課] |
| ○介護サービス従事者の就労支援（介護特会・地域支援事業） | 53 百万円 [介護保険課] |
| 新型インフルエンザ対策事業 | 44 百万円 [保健衛生課] |

■ 主な新規事業 ■

元気あふれる街を目指し、
さらなる食育の推進を図ります

～未来へつなぐ
食育推進事業～



「北九州市食育推進計画」(計画期間平成 21～25 年度)の目標達成に向け、平成 22 年度は主に朝食の欠食対策として、「朝ごはんをきちんと食べること」を目標とした食育キャンペーンを実施するとともに、食育に関する情報発信の充実に取り組みます。

また、食育の関係団体等のネットワークづくりをすすめて、お互いの情報共有や相互の連携・協力による食育を推進していきます。

介護従事者の就労を支援します

～介護サービス従事者の定着促進～

福祉人材バンクの機能を活用し、ホームヘルパー等の資格を有しながら介護現場で就労していない求職者を対象に、介護施設への現場見学会と研修を

一体的に実施する潜在的有資格者就労支援事業の充実を図るとともに、市内の介護施設へ6カ月派遣する介護人材就労サポート事業を実施し、介護人材の就労に向けたマッチングを支援します。



緊急時も「あんしん」です
緊急時あんしんキット(仮称)

～高齢者緊急時あんしん事業～

一人暮らし高齢者の方を中心に、かかりつけ医・緊急連絡先など緊急時に必要な情報を収めた容器「緊急時あんしんキット(仮称)」を製作します。



このキットは冷蔵庫を保管場所とするルールのもと、万一の時には保管された情報をすぐに見つけ出し、的確に関係機関との連絡を図るための事業です。

発達障害者支援センターの
相談体制を充実します

～発達障害支援センター
分所設置事業～

発達障害者支援センターの分所を設置し、新たに相談員を配置することにより、本市西部地区の発達障害者支援の充実を図ります。



■ 主な見直し項目 ■

- 所管の施設について運営体制等を一部見直します。
- 関係団体の運営補助金等を一部見直します。

■ 特別会計 ■

保健福祉局では6つの特別会計を有していますが、そのうち主な3つを紹介します。

- ◆ 国民健康保険特別会計(予算要求額 121,000 百万円)
被用者保険等に参加しない市民の方全員が被保険者となる医療保険制度で、診療や出産に係る保険給付や、特定健診・特定保健指導等、被保険者の健康保持のため諸施策を行います。
- ◆ 介護保険特別会計(予算要求額 72,600 百万円)
介護サービスの適正な保険給付を行うとともに、サービス事業者への研修など、サービスの質の向上に向けた取り組みを行います。また、引き続き介護予防事業の実施や高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」を運営します。
- ◆ 後期高齢者医療特別会計(予算要求額 13,000 百万円)
主に75歳以上の方が被保険者となる医療保険制度で、運営主体である「福岡県後期高齢者医療広域連合」が、被保険者の資格認定や医療等の給付、保険料の決定などの業務を行い、北九州市は、市民からの各種申請や届出の受付、保険料の徴収など市民に身近な業務を行います。